

ヒメイヌビエ (姫犬稗)

名前の意味：イヌビエで、道端みちばたに生え、実の小さいもの。姫は姿が優やさしいものにつける。イヌビエは、稗ひえに似ているが、役に立たないという意味。

分類：単子葉類、イネ科、イヌビエ属

(イネ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい湿しめった道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：斜ななめに立ち上がる茎た、先の尖くきった感じの実とががたくさん並ぶ枝ならから花序かじよができあがっている。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁りべん (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：8－10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：イヌビエは全体が大きくて、水田の雑草になる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)